

## 福岡県立筑前高等学校で「ワンヘルス教育講演会」開催 !!

令和5年10月19日（木）、福岡市西区千里にある福岡県立筑前高等学校で「ワンヘルス教育講演会」が開催されました。

講師には、公益社団法人福岡県獣医師会の野原隆士副会長（福岡県議会議員・西区選出）が務められました。

1年生、2年生の生徒及び職員の皆様、約800名の皆さんが参加されました。



福岡県立高等学校における「ワンヘルス教育」は、福岡県教育委員会が、生徒が生涯にわたって自らの健康や環境を適切に管理・改善していくための資質・能力を育成するため、ワンヘルスの理念の普及・啓発を図るために実施しているものです。

### 【ワンヘルス教育講演会の生徒からの感想】（原文のまま）

#### 【生徒：A】

環境のバランスは微生物によって保たれており、人も動物も環境も微生物と一緒にいることがわかった。

人口が増加するにつれて食糧が足りなくなるために森林を破壊しすぎてしまうと、地球温暖化によって自然災害などが起こり、それが人や動物の健康被害にも影響してしまうことを聞いて、少しでも地球温暖化を防ぐためにできることをしようと考えた。

ワンヘルスの「人と動物の共通感染症対策」「薬剤耐性菌対策薬剤の適正使用と管理」「環境保護」「人と動物との共生社会づくり」「健康づくり」「環境と人と動物のより良い関係づくり」という6つのポイントを自分なりに考えないといけないと考えた。

### 【生徒：B】

講演前は、「人の健康」「動物の健康」「環境の健全性」を一つの健康として考えるという意味が曖昧でした。しかし、話を聞いているうちにこの三つが互いに影響を及ぼし合っていることに気づきました。

最近のことでいうと、コロナウイルスも動物から人間に感染する共通感染症であり、人と動物が関係していて納得できました。また、多くの人を殺している動物の上位に「犬」が入っていることを知って、とても驚きました。

日本では狂犬病で亡くなってしまった人についての報道など滅多に見ないけれど、海外では狂犬病を持つ犬が少ないことを知ることができました。

私も犬を飼っているのでワクチンを忘れずに接種させようと、改めて強く思いました。

### 【生徒：C】

私は、今回の講演を聞いて、ワンヘルスというものは地球のためだけでなく、自分や自分の周りの人のためにもとても重要なものなのだと感じました。

元々、私はこの講演を聞くまではワンヘルスという言葉聞いたことがなく、この言葉の意味がよくわかりませんでした。

そして、今回の講演の資料を読んだことで、ワンヘルスというものが「人の健康、動物の健康、環境の保全を一つとして捉え、みんなで行動しようという社会活動」であることを知りました。

そこで私ができることを考えてみました。それは「野生動物に触らないこと」です。このような身近なことがワンヘルスには重要なのだと思います。

### 【生徒：D】

今回の講演を聞いて、ワンヘルスという言葉に対して深く興味を持てた。今の現状は、社会発展のために、様々な産業が盛んになり、いろいろな進化を遂げてきたが、その代償として、地球温暖化や多くの外来種の侵入、またそれらが原因で起こる人獣共通感染症や生物多様性の損失などが起きており、よりいっそう私たちの世代で、解決を目指して一人ひとりが小さな積み重ねを繋げていなければならぬということがわかった。

また、人は動物や植物などの自然環境に依存し続けているので、一方的ではなくお互いに良い関係を築いていけたらいいなと思いました。

2023年10月24日

福岡ワンヘルス協議会・事務局